

福岡県の企業版ふるさと納税を活用した寄付を実施

県知事から感謝状を授与。三次元半導体研究センターの新たな設備導入を支援

リンテックは「企業版ふるさと納税制度」を活用し、福岡県に1億円の寄付を実施しました。寄付金は昨年、当社が入居した公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団が運営する三次元半導体研究センター（福岡県糸島市）の設備増強に使われます。これを受けて、9月2日に県知事から感謝状が授与されました。

三次元半導体研究センターの開発力向上の一助に

当社では三次元実装やチップレット集積といった半導体後工程におけるパッケージング技術に関わる新たなテープ・装置および独自プロセスの開発を推進するため、公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団が運営する三次元半導体研究センター内に、研究開発を担う組織として「実装技術開発室」を設けています。

「企業版ふるさと納税制度」とは、国の認定を受けた地方創生の取り組みに対して民間企業が寄付を行った場合に、税制上の優遇措置が受けられる地方創生応援税制です。

今回の寄付は次世代半導体の重要技術となる三次元実装分野で、設計・試作から評価・解析までを一貫して行うことができる国内唯一の公的支援機関である同センターに新たな設備を導入することにより、研究開発力向上の一助となることを目的としています。

九州・福岡県の半導体産業発展に向けた取り組みを支援

福岡県は九州各地で半導体産業への投資の動きが相次いでいることを背景として、糸島市にある三次元半導体研究センターに「企業版ふるさと納税制度」を活用して新たな設備を導入し、研究開発機能を強化するとともに、県内企業の取り引き拡大や新規参入、県外からの半導体関連企業の誘致を推進しています。

当社では同センター内にある「実装技術開発室」のアウトプットの質を一層高めるとともに、半導体パッケージング技術のさらなる向上、ひいては九州・福岡県の半導体産業の発展に貢献していきたいと考えています。



感謝状贈呈式の様子(写真左:服部 誠太郎県知事 / 写真右:リンテック株式会社 代表取締役社長 服部 真)



当社が入居している三次元半導体研究センター

|| 三次元半導体研究センターの概要

所在地:福岡県糸島市東 1963-4
開 所:2011年3月
構 造:鉄筋コンクリート2階建て
延床面積:3,267 m²

■リリース内容に関する報道関係者の方からのお問い合わせ

リンテック株式会社 広報・IR室

〒173-0001 東京都板橋区本町 23-23 TEL.(03)5248-7741 FAX.(03)5248-7754 担当:野中、高津

<https://www.lintec.co.jp/>

本リリースに使用している写真データは、<https://www.lintec.co.jp/pub/>からダウンロードいただけます。